

京都大学 生存圏研究所  
 平成20年度前期共同利用研究申請課題一覧  
 MUキャンペーン観測(長時間観測)

研究分野

A:対流圏・成層圏

B:中間圏・電離圏他

## A:対流圏・成層圏

審査番号	研究代表者 (研究代表者の所属機関名・職名)	研究課題	研究者数	新規・継続の別
				延べ使用申請時間数 <i>h</i> 継続の場合の年表示
A-01	柴垣 佳明	ウインドプロファイラネットワーク観測に基づいた梅雨 前線帯擾乱の多重相互作用に関する研究	4 名	新規
	大阪電気通信大学情報通信工学部・ 准教授			<i>h</i>

京都大学 生存圏研究所  
平成20年度前期共同利用研究申請課題一覧  
信楽MULレーダー観測

研究分野  
A: 対流圏・成層圏  
B: 中間圏・電離圏他

A: 対流圏・成層圏

審査番号	研究代表者 (研究代表者の所属機関名・職名)	研究課題	研究者数	新規・継続の別 延べ使用申請時間数 <sup>h</sup> 継続の場合の年表示	
				新規	継続
A-02	橋口 浩之	イメージング・ウィンドプロファイラーの開発による下層大気乱流の微細構造の観測	6 名	新規	12 h
	京都大学生存圏研究所・准教授				
A-03	橋口 浩之	顕著台風の中心付近における立体構造の観測	4 名	継続	24 h
	京都大学生存圏研究所・准教授				平成15年後期～
A-04	橋口 浩之	Xバンドドップラーレーダーの開発によるメソ気象観測	5 名	継続	600 h
	京都大学生存圏研究所・准教授				平成16年後期～
A-05	山本 真之	MULレーダー・レイリー/ラマンライダーによるcold-point対流圏界面付近における巻雲の観測的研究	5 名	新規	64 h
	京都大学生存圏研究所・助教				
A-06	山本 真之	MULレーダー・Xバンド気象レーダー同時観測による層状雲内の乱流の微細構造の研究	3 名	継続	36 h
	京都大学生存圏研究所・助教				平成19年後期～
A-07	佐藤 薫	多チャンネル受信システムを用いた大気乱流微細構造の研究	7 名	継続	24 h
	東京大学・大学院理学系研究科・地球惑星科学専攻・教授				平成18年前期～
A-08	前川 泰之	衛星通信回線における降雨・風系および屈折率変動に関する研究	1 名	継続	50 h
	大阪電気通信大学情報通信工学部通信工学科・教授				昭和63年後期
A-09	古本 淳一	MULレーダー観測強化システムを用いたRASS、乱流エコーの高高度分解能観測	3 名	継続	96 h
	京都大学生存圏研究所・特任助教				平成17年後期～
A-10	中村 卓司	レイリー・ラマンライダーとMULレーダーの同時観測による乱流散乱層の微細構造の研究	3 名	継続	24 h
	京都大学・生存圏研究所・准教授				平成16年後期～
A-11	V. K. Anandan	Study of convection associated phenomena and momentum flux derived by IDI using MU radar multi channel receiver system	3 名	新規	h
	National Atmospheric Research Laboratory, Gadanki, India; Scientist				
A-29	下舞 豊志	MULレーダー・マイクロレインレーダーを用いた上空の雨滴粒径分布推定	2 名	新規	h
	島根大学・総合理工学部・助教				
A-12	本研究所事業	MULレーダーによる中層大気標準観測 (GRATMAC)	- 名	本研究所事業	注1) h
	京都大学生存圏研究所・				

## B: 中間圏・電離圏他

審査番号	研究代表者 (研究代表者の所属機関名・職名)	研究課題	研究者数	新規・継続の別 延べ使用申請時間数 <sup>h</sup> 継続の場合の年表示
B-13	塩川 和夫	多波長イメージング・分光機器とMULレーダーによる 超高層大気の同時観測	7 名	継続 100 h
	名古屋大学太陽地球環境研究所・准教授			平成9年後期～
B-14	大塚 雄一	E・F領域沿磁力線不規則構造と中規模伝搬性電離 圏擾乱の同時観測	6 名	継続 48 h
	名古屋大学太陽地球環境研究所・助教			平成18年前期～
B-15	Yen-Hsyang Chu	Investigations of Ionospheric Irregularities Using Tri-band Beacon of COSMIC Satellites Combined with MU Radar	4 名	継続 200 h
	Institute of Space Science, National Central University (NCU) ; ・Professor			平成18年後期～
B-16	家森 俊彦	地磁気変化における電離層電場・風の影響および 下層大気擾乱に起因する波動現象の検出	4 名	継続 240 h
	京都大学大学院理学研究科・教授			平成13年前期～
B-17	堤 雅基	昭和基地VHFレーダー装置(下部熱圏探査レー ダー)の開発	8 名	新規 72 h
	情報・システム研究機構国立極地研究 所・研究教育系 准教授			
B-18	佐川 宏行	超高エネルギー宇宙線空気シャワーからのMULレー ダー・エコー検出実験	18 名	新規 32 h
	東京大学宇宙線研究所・准教授			
B-19	山本 衛	電離圏ビーコン観測用デジタル受信機の開発	3 名	継続 60 h
	京大大学生存圏研究所・教授			平成18年後期～
B-20	足立 透	地上光学・電磁波観測器とMULレーダーを用いた雷 活動と電離圏擾乱現象の同時観測	4 名	継続 84 h
	京大大学生存圏研究所・日本学術振 興会特別研究員(PD)			平成19年後期～
B-21	川原 琢也	中間圏界面におけるNa温度と流星観測時風変動の 昼夜同時観測	7 名	新規 70 h
	信州大学工学部・准教授			
B-22	江尻 省	二地点の大気光イメージャとMULレーダーの同時観 測による中間圏重力波の伝搬と砕波の研究	2 名	継続 36 h
	京大大学生存圏研究所・日本学術振 興会特別研究員			平成19年後期～
B-23	山本 衛	多ビーム・イメージングによる電離圏E・F領域イレ ギュラリティの微細構造の観測	3 名	新規 64 h
	京大大学生存圏研究所・教授			
B-24	阿保 真	GPS同期によるMULレーダー流星エコーのバイスタ ティック受信に関する研究	3 名	継続 96 h
	首都大学東京・システムデザイン学部・ 教授			平成18年後期～

B-25	William Ward	Mesosphere and Lower Thermosphere studies using wind mapping with an airglow imaging Michelson interferometer and meteor radar 4 名	新規 72 h
	Department of Physics University of New Brunswick・Professor,		
B-26	中村 卓司	超多チャンネル流星観測の干渉計の校正方法に関する研究 4 名	継続 36 h
	京都大学・生存圏研究所・准教授		平成17年前期～
B-27	Amit Kumar Patra	Investigation of mid-latitude daytime 150-km irregularities using the MU radar 4 名	新規 30 h
	National Atmospheric Research Laboratory ・Scientist・		
B-28	本研究所事業	MUレーダーによる電離圏の標準観測 - 名	本研究所事業 注2) h
	京都大学生存圏研究所・		

注1)、注2)は生存圏研究所の事業として行う標準観測である。それぞれの観測時間を下記に示す。

注1):原則として、毎月5日間(月～金曜日)実施する。100時間×6ヶ月＝600時間。

注2):原則として、毎月4日間 Incoherent Scatter Coordinated Observation Day に合わせて年間9回実施する。

本年度 前期 には5回実施する予定である。96時間×5ヶ月＝480時間。